

- 問1 北海道、茨城県、新潟県、鹿児島県の4道県の農業産出額の内訳を比較したとき、鹿児島県の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 米、野菜、畜産の産出額がほぼ同等であり、特定の部門に偏らない多角経営が行われている
  2. 野菜の産出額が最も多く、近隣の巨大消費地へ向けた近郊農業が中心となっている
  3. 総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている
  4. 総産出額の半分以上を米が占めており、畜産の割合は極めて低い
- 問2 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。
  2. 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。
  3. 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。
  4. 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。
- 問3 北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため
  2. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利のため
  3. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため
  4. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため
- 問4 九州地方の農業と人口に関する統計において、人口密度が1024.1人/km<sup>2</sup>と1000人を超えて非常に高い県と、豚の産出額が723億円に達し畜産業が盛んな県の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県
  2. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：大分県
  3. 人口密度の高い県：沖縄県、豚の産出額が多い県：熊本県
  4. 人口密度の高い県：熊本県、豚の産出額が多い県：鹿児島県
- 問5 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。
  2. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。
  3. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができていたため、九州地方の全県が収穫量で全国トップ10に入っている。
  4. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。
- 問6 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。
  2. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。
  3. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。
  4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。
- 問7 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でのり養殖が産業の中心となっている。
  2. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。
  3. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。
  4. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。
- 問8 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。
  2. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。
  3. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。
  4. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。
- 問9 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 砂丘
  2. 扇状地
  3. カルデラ
  4. シラス台地
- 問10 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
  2. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。
  3. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。
  4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
- 問11 沖縄県に見られる伝統的な家屋の特徴について、その構造と目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 床を非常に高く作る高床倉庫の仕組みを取り入れ、風通しを良くして湿気を防いでいる。
  2. 屋根を急傾斜の茅葺きにし、冬の厳しい積雪の重みに耐えられるようにしている。
  3. 外壁を厚い土壁にし、窓を小さくすることで、冬の寒冷な空気が室内に入るのを防いでいる。
  4. 屋根の瓦を漆喰で固め、周囲を石垣で囲むことで、台風の強風から家屋を守っている。
- 問12 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km<sup>2</sup>である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 大分県
  2. 宮崎県
  3. 鹿児島県
  4. 福岡県

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                     |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 3<br>総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている                                                   | 鹿児島県の農業産出額は全国でも上位に位置しますが、その最大の特徴は部門別内訳にあります。米が中心の新潟県や、野菜の割合が高い茨城県とは異なり、鹿児島県は畜産の産出額が非常に大きく、県全体の農業産出額の5割以上を占めています。具体的には豚、肉用牛（黒毛和種）、鶏（ブロイラー）のいずれも全国トップクラスの生産量を誇っており、シラス台地という土地の制約を克服した産業構造となっています。     |
| 問2  | 答え 4<br>県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。                            | 鹿児島県は、シラス台地の特性を活かした肉用牛、豚、鶏などの畜産業が日本屈指の規模を誇ります。これらの地元の農産物を原料として、精肉加工や缶詰、焼酎、菓子などの「食料品」へと加工する工業が地域に根付いているため、農業と工業が密接に関係しながら産業構造を形作っています。                                                               |
| 問3  | 答え 2<br>海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利なため                                                       | 北九州工業地域の化学工業は、石油や天然ガスなどの原料を海外から大型船で輸入し、大規模な設備で加工した製品を国内外へ輸送する形態をとっています。そのため、物流コストを抑えることができる港湾に近い沿岸部が立地として極めて有利になります。かつて官営八幡製鉄所を中心に金属工業が発展した際も、同様の理由で沿岸部が選ばれ、現在の化学工業の集積にもつながっています。                   |
| 問4  | 答え 1<br>人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県                                                            | 福岡県は九州地方の政治・経済・文化の中心地であり、人口が約510万人に達し、人口密度も1000人/km <sup>2</sup> を超える都市化が進んだ県です。一方で、鹿児島県はシラス台地が広がる土地条件を活かして豚や肉用牛などの畜産業が非常に盛んであり、豚の産出額は全国でも有数の規模を誇ります。                                               |
| 問5  | 答え 4<br>米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。 | 日本の食料自給率は品目によって大きな差があります。主食である米は国内でほぼ自給できていますが、小麦は海外からの輸入に頼る割合が高く、自給率は10%から20%程度の低い水準にとどまっています。しかし、国内での生産も継続されており、広大な農地を持つ北海道が最大の産地であるほか、九州地方の福岡県、佐賀県、熊本県などは全国的に見ても非常に高い収穫量を誇る重要な産地としての役割を担っています。   |
| 問6  | 答え 2<br>近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。                                           | 北九州工業地帯は、かつては筑豊炭田の石炭と中国からの鉄鉱石を利用した官営八幡製鉄所を中心に、金属工業が圧倒的な割合を占めていました。しかし、エネルギー革命による炭鉱の閉鎖や産業構造の変化を経て、現在は自動車産業を中心とした機械工業が発展しています。製造品出荷額の内訳でも、機械工業が約4割を占め、金属工業を上回る構成へと変化している点が重要な特徴です。                    |
| 問7  | 答え 3<br>温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。                                | 九州地方南部は、温暖な気候を背景に畜産業が非常に盛んな地域です。特にこの県では、統計においてブロイラーの産出額が700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県としての地位を確立しています。一方で、金属製品の出荷額や宿泊旅行者数などの指標では、都市型の産業構造を持つ福岡県とは異なる傾向を示します。                                                 |
| 問8  | 答え 3<br>市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。                                            | かつて北九州市は「七色の煙」と呼ばれるほどの大気汚染や、洞海湾の深刻な水質汚濁に悩まされていました。この状況に対し、まずは子どもの健康を心配した市民（母親たち）が立ち上がり、企業や行政に働きかけました。その結果、三者が一体となって対策を講じる体制が整い、厳しい排出基準の策定や企業の技術革新が進んだことで、環境問題の克服に成功しました。この経験は現在、国際的な環境協力にも活かされています。 |
| 問9  | 答え 4<br>シラス台地                                                                                  | 九州南部に広がるこの台地は、過去の巨大噴火による火砕流の堆積物（シラス）や火山灰によって形成されました。水はけが非常に良く、水持ちが悪いため、古くから稲作には不向きとされ、サツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産業が発展する要因となりました。鹿児島の地形的な特徴を語る上で欠かせない要素です。                                               |
| 問10 | 答え 4<br>鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。                                         | 九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起こりました。           |
| 問11 | 答え 4<br>屋根の瓦を漆喰で固め、周囲を石垣で囲むことで、台風の強風から家屋を守っている。                                                | 南西諸島の家屋は、高温多湿で台風が多いという厳しい自然環境に適応した形をしています。瓦が風で飛ばされないよう継ぎ目を漆喰（しっくい）で塗り固める工夫や、家を囲うように配置された石垣、さらには防風林としての役割を持つフクギの植栽などは、いずれも台風による強風被害を軽減するための伝統的な知恵です。積雪対策や防寒対策は、主に日本の積雪寒冷地に見られる特徴です。                  |
| 問12 | 答え 1<br>大分県                                                                                    | 大分県は別府温泉や由布院温泉に代表されるように火山活動が活発な地域であり、その熱エネルギーを利用した地熱発電の発電量が国内で最も多いことが特徴です。統計資料に示された高い地熱発電量は、この地理的特性を反映しています。                                                                                        |

- 問1 九州地方の中西部に位置し、東は宮崎県と大分県、北は福岡県、南は鹿児島県に隣接する県があります。この県の南西端に位置する沿岸部の都市で発生した、四大公害病の一つに数えられる公害病の名称と、その舞台となった都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。  
(2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 四日市ぜんそく ― 三重県      2. 新潟水俣病 ― 新潟県      3. イタイイタイ病 ― 富山県      4. 水俣病 ― 熊本県
- 問2 宮崎市が位置する太平洋沿岸南部の地域で、冬でも温暖な気候となり、かつ夏から秋にかけて降水量が非常に多くなる主な要因の組み合わせとして、正しいものはどれですか。  
(2023年 福井県公立入試 類似)
1. 内陸の盆地による影響と、一年を通じて安定した高気圧の影響      2. 寒流である親潮の影響と、北西から吹く季節風の影響      3. 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響      4. 対馬海流の影響と、日本海側特有の冬の季節風の影響
- 問3 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。  
(2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に向向きであったため。      2. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。      3. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。      4. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
- 問4 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。  
(2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。      2. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工しやすい畜産物の生産に力を入れた。      3. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。      4. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県では、火山噴出物が堆積して形成されたシラス台地が広く分布しています。この土地の「水はけが良すぎる」という性質を背景として、古くから稲作が制限されてきた代わりに発達した、鹿児島県の農業産出額の半分以上を占める主要な農業部門は何ですか。  
(2024年 山口県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を活かした果樹栽培      2. 近郊農業による野菜栽培      3. 広大な土地を利用した畜産      4. 豊富な地下水を利用した稲作
- 問6 1970年代の大分県において、県内での雇用を増加させ、大都市圏への人口流出を抑える要因となった政府による都市開発の指定制度を何と称しますか。  
(2020年 大分県公立入試 類似)
1. 情報公開特区      2. 学術研究都市      3. 高度経済成長拠点      4. 新産業都市
- 問7 九州南部の鹿児島県では、山地が約70.6パーセントを占める一方で、台地の割合も約20.8パーセントと全国平均に比べて非常に高い特徴があります。この広大な台地が形成された背景として最も適切な説明を選びなさい。  
(2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 過去の火山活動によって噴出された火山灰や火砕流などの堆積物が厚く積み重なったため      2. 河川が山間部から平野部へ出る際に、運んできた土砂を扇状に堆積させたため      3. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出し、山体の中央部が大きく陥没して窪地となったため      4. 海岸近くにおいて、風によって運ばれた砂が長い年月をかけて堆積し、丘状の地形を作ったため
- 問8 九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。  
(2020年 広島県公立入試 類似)
1. カルデラ      2. シラス台地      3. 扇状地      4. 三角州
- 問9 那覇市などの地方中心都市において、夜間の常住人口よりも昼間の人口の方が多くなる現象が見られます。ある統計によると、那覇市の夜間人口は約31.9万人ですが、昼間人口は約35.0万人に達しており、昼夜間人口比率が100%を大きく上回っています。このような現象が起こる主な要因として最も適切な説明を選んでください。  
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 周辺の市町村から、仕事や学びのために多くの人々が通勤・通学してくるため      2. 県外や海外から訪れる多くの観光客が、日中に市内の観光スポットに滞在するため      3. 中心部での地価高騰を避けるため、夜間だけ市外の宿泊施設を利用する人が多いため      4. 出生率が高く、年少人口の割合が他の市町村に比べて著しく高いため
- 問10 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。  
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. マンゴー      2. パイナップル      3. スイカ      4. 紅芋
- 問11 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。  
(2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. バナナ      2. マングローブ      3. サンゴ礁      4. なつめやし
- 問12 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。  
(2017年 京都府公立入試 類似)
1. さけ      2. かつお      3. まだい      4. ほたてがい
- 問13 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。  
(2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること      2. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること      3. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること      4. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること

## 答え合わせ・解説

|     |                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 4<br>水俣病 ― 熊本県                                        | 熊本県は九州地方の中西部に位置する県で、その南西部の沿岸に位置する水俣市では、工場排水に含まれるメチル水銀が原因で水俣病が発生しました。これは日本の高度経済成長期に深刻な社会問題となった四大公害病の一つです。新潟水俣病は新潟県の阿賀野川流域、イタイイタイ病は富山県の神通川流域、四日市ぜんそくは三重県四日市市の石油コンビナート周辺で発生しました。                                                                                              |
| 問2  | 答え 3<br>暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響                         | 宮崎市などの太平洋沿岸南部では、暖流である黒潮（日本海流）が近海を流れているため、冬の寒さが和らぎ温暖な気候がもたらされます。一方、夏から秋にかけては、太平洋高気圧からの湿った季節風や、南から北上する台風の通り道にあたるため、非常に多くの降水量が記録されます。これに対し、親潮は北日本に影響を与える寒流であり、対馬海流は日本海側の気候に大きく関わる暖流です。                                                                                        |
| 問3  | 答え 1<br>火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。     | 鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。                                                                                     |
| 問4  | 答え 4<br>シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。 | 宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。                                                                                                                  |
| 問5  | 答え 3<br>広大な土地を利用した畜産                                     | 鹿児島県に広がるシラス台地は水持ちが悪く、大規模な水田稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地を有効に活用できる畜産業が発展し、現在では肉用牛、豚、鶏の飼養頭数・羽数が全国屈指の規模を誇る日本代表的な畜産県となりました。統計上でも農業産出額の約65%を畜産が占めています。                                                                                                                              |
| 問6  | 答え 4<br>新産業都市                                            | 政府は地方への工業分散を図り、過密・過疎問題を解決するために「新産業都市建設促進法」を制定しました。大分県（大分地区）はこの「新産業都市」の指定を受けたことで工業化が進み、県内での雇用機会が創出されました。この結果、高度経済成長の終わりとともに大都市への人口流出が減少し、地方における人口還流が促進されました。                                                                                                                |
| 問7  | 答え 1<br>過去の火山活動によって噴出された火山灰や火砕流などの堆積物が厚く積み重なったため         | シラス台地は、約3万年前に発生した巨大な噴火活動に伴う火砕流などが起源となっています。この噴出物が広範囲にわたって厚く堆積したことで、現在の鹿児島県に見られる特有の台地地形が作られました。選択肢にある「陥没した窪地」はカルデラ、「土砂の堆積」は扇状地、「風による砂の堆積」は砂丘の説明であり、シラス台地の形成過程とは異なります。                                                                                                       |
| 問8  | 答え 2<br>シラス台地                                            | 九州南部には、火山の噴出物が堆積してできた広大な台地が広がっています。この地形は水分を保持しにくく水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。その一方で、現代ではその広大な面積を活かした大規模な畑作や畜産業の基盤となっています。                                                                                                                                             |
| 問9  | 答え 1<br>周辺の市町村から、仕事や学びのために多くの人々が通勤・通学してくるため              | 県庁所在地などの中心都市には、官庁や企業、学校などが集中しています。そのため、夜間は周辺の住宅都市（ベッドタウン）で生活している人々が、日中になると「通勤」や「通学」のために中心都市へ移動します。この人々の「流入」により、中心都市では昼間人口が夜間人口を上回ります。一方、隣接する豊見城市のように、昼夜間人口比率が100%を下回る自治体は、住民が市外へ働きに出る「流出」側であることを示しています。観光客の移動は一時的なものであり、国勢調査に基づく昼間人口の定義（常住人口に出入管理される通勤・通学者を加減したもの）とは異なります。 |
| 問10 | 答え 2<br>パイナップル                                           | 東村や石垣市は、沖縄県特有の酸性の赤土（国頭マージ）が広がる地域であり、この土壌に適したパイナップルの栽培が大規模に行われています。特に本島北部の東村は「パインの村」として知られ、県内最大の栽培面積を誇ります。選択肢にあるマンゴーやスイカも沖縄で栽培されていますが、東村や石垣市が突出した割合を示すのはパイナップルの特徴です。                                                                                                        |
| 問11 | 答え 2<br>マングローブ                                           | マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の、海水と淡水が混ざり合う汽水域の海岸沿いに発達する植物群落のことです。常に葉をつけている常緑広葉樹であり、その複雑に絡み合った根の構造が、波のエネルギーを吸収・緩和して背後の陸地を守る天然の防波堤として機能しています。                                                                                                                                             |
| 問12 | 答え 3<br>まだい                                              | 長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせて生産することで、高い生産額を維持しています。                                                                                                                              |
| 問13 | 答え 2<br>製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること                | 製造業、特に自動車の組立や部品製造を行う工場が多数立地している地域では、直接生産活動を支える労働者が必要とされるため、第2次産業の就業者が集中します。そのため、卸売・小売業などの第3次産業が中心になりやすい県庁所在地などの他の都市と比較して、第2次産業の割合が相対的に高くなるのが特徴です。                                                                                                                          |

- 問1 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 大分県 2. 鹿児島県 3. 宮崎県 4. 福岡県
- 問2 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 大分県 3. 福岡県 4. 宮崎県
- 問3 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。  
2. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。  
3. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。  
4. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
- 問4 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 抑制栽培 2. 近郊農業 3. 有機農業 4. 促成栽培
- 問5 九州地方南部の鹿児島県や宮崎県では、火山噴出物が積み重なってできたシラス台地が広く分布しています。この地域で、稲作ではなく豚や肉用牛などの飼育を行う畜産業が盛んになった理由として、地形の性質に触れた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しくなったため  
2. 平坦な土地がほとんど存在せず、家畜を放牧するスペースしか確保できなかったため  
3. 急峻な傾斜地が多く、機械を導入した大規模な耕作が困難であったため  
4. 標高が極めて高く、夏季の気温が上昇しないため稲の生育に適さなかったため
- 問6 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。  
2. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。  
3. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。  
4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問7 鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 畜産 2. 野菜 3. 米 4. 果実
- 問8 沖縄県の竹富町などに見られる伝統的な家屋では、家の周囲を石垣で囲み、防風林を植え、さらに屋根瓦をしっくいで固めるといった工夫が見られます。このような独自の住居様式が発達した理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 近隣の火山が噴火した際に、降り積もる火山灰の重みに耐えるため  
2. 冬に吹く冷たくて強い季節風を遮り、屋内の温度を一定に保つため  
3. 夏から秋にかけて接近・上陸する台風による強風の被害を防ぐため  
4. 地震が発生した際に、振動による建物の倒壊や屋根瓦の崩落を防ぐため
- 問9 大分県で見られる火山の性質を利用した産業について、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積したシラス台地の地形を活かして、大規模なダムを建設し水力発電を行っている。  
2. 阿蘇山周辺のカルデラから湧き出る豊富な水を利用して、大規模な水力発電を主な電力源としている。  
3. 由布院などの温泉街において、火山ガスの成分を化学工業の原料として抽出する産業が最も盛んである。  
4. 別府などの豊かな温泉資源を観光に活用するとともに、地下の熱エネルギーを地熱発電に役立てている。
- 問10 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 鹿児島県 3. 愛媛県 4. 青森県
- 問11 宮崎県では、温暖な気候を利用したピーマンやきゅうりなどの園芸農業が盛んです。これらの作物の収穫時期を、他の地域よりも早めるなどの工夫を行う主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 夏の強い日差しを好む熱帯性の害虫が大量発生する前に、収穫を終えるため。  
2. 冬に降る大量の雪が農作物の成長を妨げるのを防ぎ、春の間にすべて収穫するため。  
3. 夏から秋にかけて発生しやすい台風の被害を最小限に抑え、安定した出荷を行うため。  
4. 輸入農産物が最も安くなる時期に合わせ、価格競争で有利に立つため。
- 問12 九州地方北部の福岡県から佐賀県にかけて広がり、有明海に面している広大な平野があります。この平野は九州最大の稲作地帯として知られていますが、その名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 仙台平野 2. 宮崎平野 3. 熊本平野 4. 筑紫平野
- 問13 九州地方の農業について述べた文のうち、筑紫平野で見られる農業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 阿蘇山周辺の広大な草原や斜面を利用して、肉用牛の放牧や酪農が行われている。  
2. 温暖な気候を利用し、宮崎平野を中心にピーマンやきゅうりの促成栽培が行われている。  
3. シラス台地特有の水はけの良さを活かして、サツマイモや茶の栽培、畜産が盛んに行われている。  
4. 広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                       |                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 3<br>宮崎県                                                           | 宮崎県は、隣接する鹿児島県とともに日本有数の畜産地帯を形成しています。特に肉用牛の飼育が盛んであり、広大な土地と暖かい気候という条件が、大規模な畜産業の発展を支える背景となっています。                                                                                                              |
| 問2  | 答え 2<br>大分県                                                           | 九州地方は全体として火山が多く地熱資源が豊富ですが、その中でも北東部に位置する大分県は、国内最大級の地熱発電所である八丁原発電所などを有し、地熱発電量が全国トップクラスとなっています。また、統計資料において、鹿児島県や宮崎県ほどではないものの豚の飼育が行われており、農業・工業・エネルギー産業がバランスよく展開されているのが特徴です。                                   |
| 問3  | 答え 4<br>年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。             | 那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。 |
| 問4  | 答え 4<br>促成栽培                                                          | 宮崎県などの温暖な地域では、冬から春にかけて野菜を出荷できるよう、ビニールハウスなどで成長を促進させる促成栽培が行われます。これは、需要が高く供給が少ない時期に出荷することで、市場価格が高い状態での販売を目的とした工夫です。                                                                                          |
| 問5  | 答え 1<br>土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しかったため                            | 鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、過去の火山活動による噴出物が堆積して形成されました。この土壌は粒子が細かく非常に水はけが良い（保水力が低い）ため、稲作に不可欠な水を溜めておくことが困難でした。このような地理的条件から、水不足に強いサツマイモや茶の栽培、そして広大な台地を有効活用できる畜産業が発展し、現在では日本屈指の畜産地帯となっています。                        |
| 問6  | 答え 1<br>宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。 | 鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。                                       |
| 問7  | 答え 1<br>畜産                                                            | 九州地方ではシラス台地などの地形や温暖な気候を生かして、鹿児島県や宮崎県を中心に肉用牛や豚、鶏などを育てる産業が発達しています。そのため、農業産出額の品目別割合においても畜産の占める割合が最も大きくなっています。                                                                                                |
| 問8  | 答え 3<br>夏から秋にかけて接近・上陸する台風による強風の被害を防ぐため                                | 沖縄県や九州地方は、地理的に北西太平洋で発生した熱帯低気圧である台風の進路に当たりやすく、古くから強風や大雨による被害を受けてきました。特に強い風から家屋を守るため、風を遮る石垣や防風林を設けたり、風で瓦が飛ばされないようにしっくい固定したりするなどの知恵が、生活文化の中に根付いています。地震や火山灰への対策、または冬の季節風対策は、この地域の伝統的な家づくりの主目的ではありません。         |
| 問9  | 答え 4<br>別府などの豊かな温泉資源を観光に活用するとともに、地下の熱エネルギーを地熱発電に役立てている。               | 大分県では別府や由布院といった温泉地での観光業が盛んであると同時に、火山の熱を利用した地熱発電の発電量が日本一であるという特徴があります。阿蘇山は熊本県に位置する火山であり、また、水の落差を利用する水力発電は火山の熱利用とは異なる仕組みであるため、混同に注意が必要です。                                                                   |
| 問10 | 答え 2<br>鹿児島県                                                          | 鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分を畜産が占めるという際立った特色を持っています。                                        |
| 問11 | 答え 3<br>夏から秋にかけて発生しやすい台風の被害を最小限に抑え、安定した出荷を行うため。                       | 宮崎県を含む九州地方南部は、夏から秋にかけて台風の通り道になりやすく、農作物が暴風雨によって大きな被害を受けるリスクが常にあります。そのため、気象災害を回避するために収穫期を前倒しする工夫や、温暖な気候を活かした促成栽培が発達しました。これにより、他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給できるという経済的な利点も生まれています。                                      |
| 問12 | 答え 4<br>筑紫平野                                                          | 福岡県と佐賀県にまたがるこの平野は、有明海の干拓や堆積作用によって形成されました。九州地方における主要な食糧生産基地となっており、特に米の生産が非常にさかんな地域です。                                                                                                                      |
| 問13 | 答え 4<br>広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。                    | 筑紫平野は福岡県から佐賀県にかけて広がる九州最大の平野であり、古くから稲作と麦作を組み合わせた二毛作が行われてきました。他の選択肢にある「シラス台地」は南九州の鹿児島県に見られる特徴であり、「促成栽培」は宮崎平野の高知平野に見られる特徴です。地域ごとの地形や気候に適した農業形態を区別することが重要です。                                                  |

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
  2. 平野部が广大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
  3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
  4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問2 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んですが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
  2. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
  3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
  4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
- 問3 沖縄の自然環境に関するレポートにおいて、海岸沿いに生息する樹木の特徴として「潮の満ち引きの影響を受ける場所に発達し、島を波の衝撃から守る役割がある」と説明される植物群があります。この植物群が持つ生態系や防災上の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している
  2. 落葉広葉樹の集まりであり、季節による海水の温度変化を調節している
  3. 砂漠地帯に自生する植物であり、海岸の砂の移動を防ぐ役割がある
  4. 針葉樹の集まりであり、強い潮風を受けても折れにくい性質を持っている
- 問4 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 愛知県
  2. 大分県
  3. 沖縄県
  4. 佐賀県
- 問5 日本の諸地域について述べた統計資料において、九州地方に位置し、航空路線の国内線旅客数が約990万人と非常に多く、さらに鉄鋼業の出荷額も高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 愛知県
  2. 福岡県
  3. 宮城県
  4. 北海道
- 問6 九州地方を扱った地理の学習において、大分県の特徴をまとめた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。
  2. 九州地方の南東部に位置し、温暖な気候を利用したピーマンやキュウリの促成栽培が行われている。
  3. 九州地方の北部に位置し、北九州工業地帯を中心とした重化学工業が県の経済を支えている。
  4. 九州地方の中央部に位置し、阿蘇山のカルデラや広大な農業地帯での畑作が盛んである。
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
  2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
  3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
  4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため
  2. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。
  3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。
  4. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。
- 問9 日本の南西部に位置する沖縄県の行政の中心地であり、県庁所在地となっている都市を選択肢から選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 浜松市
  2. 松本市
  3. 弘前市
  4. 那覇市
- 問10 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 宮崎県
  2. 熊本県
  3. 長崎県
  4. 鹿児島県
- 問11 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。
  2. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。
  3. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でののり養殖が産業の中心となっている。
  4. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。
- 問12 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。
  2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。
  3. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。
  4. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。
- 問13 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 壱岐・日本海海流
  2. 壱岐・対馬海流
  3. 対馬・リマン海流
  4. 対馬・対馬海流

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                                    |                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 4<br>火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。                                    | 鹿児島県の大部分を覆うシラス台地は、火山噴出物が堆積してできたもので、水はけが良すぎるために水を溜めておくことが難しく、古くから稲作には適さない土地でした。そのため、水分をそれほど必要としないサツマイモや茶などの畑作に加え、広い土地を有効に活用できる肉用牛や豚、ブロイラーなどの畜産業が地域の基幹産業として発展しました。                           |
| 問2  | 答え 4<br>石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。 | 福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。                           |
| 問3  | 答え 1<br>常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している                                           | マングローブは亜熱帯の沖縄において重要な自然環境を形成しています。潮の満ち引きがある海岸沿いに生育する常緑広葉樹であり、その密集した樹木と根が波の衝撃を和らげることで、海岸線の浸食を防いだり、高潮から居住地を守ったりする防災機能を備えています。選択肢にある針葉樹や落葉広葉樹の特徴とは異なります。                                       |
| 問4  | 答え 4<br>佐賀県                                                                        | 九州地方では、広大な平野部を利用した農業が盛んです。特に佐賀県（佐賀平野）では、夏の米作の後に冬から春にかけて小麦を育てる「二毛作（水田裏作）」が行われており、小麦の収穫量が非常に多いのが特徴です。温泉の源泉数が多い大分県など、他の県の特徴と混同しないよう注意が必要です。                                                   |
| 問5  | 答え 2<br>福岡県                                                                        | 福岡県は九州地方の経済や交通の拠点であり、県庁所在地の福岡市は政令指定都市に指定されています。福岡空港は都市部へのアクセスが極めて良く、国内有数の航空路線の旅客数を誇ります。また、北九州工業地帯を擁しており、官営八幡製鉄所の操業以来、現在も鉄鋼業が盛んな地域として知られています。                                               |
| 問6  | 答え 1<br>九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。                              | 大分県は、九州の北東部で瀬戸内海に面する位置にあります。日本有数の温泉資源は火山帯の影響によるものであり、これを利用した観光業や地熱発電などは地域の重要な特色となっています。選択肢にある重化学工業は主に福岡県、阿蘇山や広大な畑作は熊本県、促成栽培は宮崎県の特徴です。                                                      |
| 問7  | 答え 1<br>周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。                                            | 低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。                                                 |
| 問8  | 答え 2<br>高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。                                   | 1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。              |
| 問9  | 答え 4<br>那覇市                                                                        | 沖縄県の県庁所在地は那覇市です。那覇市は沖縄本島の南部に位置し、政治・経済・文化の拠点となっています。選択肢にある弘前市（青森県）、浜松市（静岡県）、松本市（長野県）はいずれも各県において重要な都市ですが、県庁所在地ではありません。                                                                       |
| 問10 | 答え 2<br>熊本県                                                                        | 阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。                                                    |
| 問11 | 答え 4<br>温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。                    | 九州地方南部は、温暖な気候を背景に畜産業が非常に盛んな地域です。特にこの県では、統計においてブロイラーの産出額が700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県としての地位を確立しています。一方で、金属製品の出荷額や宿泊旅行者数などの指標では、都市型の産業構造を持つ福岡県とは異なる傾向を示します。                                        |
| 問12 | 答え 1<br>火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。         | 九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。 |
| 問13 | 答え 4<br>対馬・対馬海流                                                                    | 九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある沓岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。                                           |

- 問1 安価な外国産牛肉の輸入量が増加し、国際的な製品との競争が激しくなる中で、宮崎県の畜産農家が進めている取り組みとして適切な説明はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- |                                             |                                                  |                                                |                                                         |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 1. 大規模な機械化によって生産コストを輸入牛肉よりも低く抑え、価格の安さで勝負する。 | 2. 牛肉の生産を段階的に縮小し、すべての農地を輸入の影響を受けにくいサトウキビ栽培に転換する。 | 3. 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。 | 4. 海外の安い飼料を使わず、国内産の高級な牧草のみを使用することで、販売価格を輸入品の10倍以上に設定する。 |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
- 問2 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- |                                               |                                                   |                                                 |                                                    |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。 | 2. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。 | 3. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 | 4. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。 |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
- 問3 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
- |        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 熊本県 | 2. 鹿児島県 | 3. 宮崎県 | 4. 長崎県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問4 日本列島周辺の海底地形のうち、九州地方の西側にある東シナ海の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- |                                             |                                         |                                             |                                        |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1. 大陸から続く水深200m程度までの平坦な海底が広がっており、好漁場となっている。 | 2. 海岸沿いに砂が堆積してできた砂州が発達し、巨大なラグーンを形成している。 | 3. 水深6000mを超える細長い溝状の地形が続き、プレートの沈み込み帯となっている。 | 4. 周囲を急峻な斜面に囲まれた、非常に深い盆地状の地形が中心となっている。 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------|
- 問5 日本国内のアメリカ軍専用施設面積の約70%が沖縄県に集中している現状に関連して、その背景や課題に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- |                                                           |                                                          |                                                     |                                                       |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1. サンフランシスコ平和条約の発効と同時にすべての基地が本土へ移転したため、現在は沖縄県の負担は解消されている。 | 2. 1972年の本土復帰後も多くの施設が維持され、騒音や事故、跡地利用の制約などが住民生活に影響を与えている。 | 3. 沖縄県の面積は日本全体の約10%を占めているため、面積比で見れば基地の割合は他県と同水準である。 | 4. アメリカ軍基地のほとんどは人が住んでいない離島に設置されているため、都市開発への影響は限定的である。 |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
- 問6 九州地方南部に位置する鹿児島県の大隅半島などには、「シラス台地」と呼ばれる火山灰が厚く堆積した地形が広がっています。この地域で肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- |                                                    |                                                       |                                                          |                                                       |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1. シラス台地は標高が高く一年中冷涼な気候であるため、暑さに弱い肉用牛の飼育に適した環境であった。 | 2. 火山灰に含まれる特殊な鉱物資源が家畜の飼料として最適であり、周辺の県からも家畜が集まるようになった。 | 3. シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。 | 4. 広大な台地をすべて森林にする計画があったが、火山ガスの影響で樹木が育たず、やむを得ず畜産に転換した。 |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
- 問7 九州地方南部に広がるシラス台地のような地形で、標高が高い平坦な面が主に「畑」として利用される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- |                                             |                                                  |                                              |                                                |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1. 標高が高い場所は平地よりも日照時間が短く、水田よりも畑作の方が収穫が安定するから | 2. 標高が高い場所は気温が低く、稲の生育に適さないため、寒さに強い作物を育てる必要があるから。 | 3. 台地の上は地盤が非常に軟弱であり、水田を作ると地盤沈下を引き起こす恐れがあるから。 | 4. 火山灰が降り積もった地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難だから。 |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------|
- 問8 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 奄美大島 | 2. 種子島 | 3. 屋久島 | 4. 壱岐島 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 金沢市 | 2. 大阪市 | 3. 宮崎市 | 4. 札幌市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 甲府盆地 | 2. 筑紫平野 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|---------|---------|----------|---------|
- 問11 九州南部の鹿児島県などに広がる火山灰層からなる台地において、古くから水田稲作があまり行われず、サツマイモや飼料用トウモロコシなどの畑作、および畜産業が発展した理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- |                                          |                                       |                                           |                                              |
|------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1. 火山灰に含まれる栄養分が多すぎるため、稲が成長しすぎて倒伏してしまうため。 | 2. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているため。 | 3. 土壌が非常に硬い岩盤状になっており、農作物の根が深く張ることができないため。 | 4. 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。 |
|------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|
- 問12 九州地方の地理的環境とエネルギー産業について述べた次の文のうち、大分県の特徴について背景を含めて説明したものとして、正しいものはどれか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- |                                                       |                                                             |                                                                |                                                          |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1. 筑後川の下流域に広がる平野の地質を活かして、地熱発電よりも米の二毛作や麦の生産を優先して行っている。 | 2. 阿蘇山などの火山帯に近い地理的条件を背景に、地下の蒸気を利用した地熱発電が発達し、全国有数の発電量を誇っている。 | 3. リアス海岸が続く複雑な海岸線を活かして、大規模な風力発電所を建設し、製造品出荷額の大部分をエネルギー産業が占めている。 | 4. 南九州に位置する地理的条件から、地熱発電よりも日照時間の長さを活かした太陽光発電が産業の中心となっている。 |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                  |                                                                                                                                                                                                           |
|-----|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 3<br>「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。              | 貿易の自由化によって海外から安価な牛肉が大量に流入するようになり、国内の畜産業は厳しい競争にさらされています。宮崎県ではこれに対抗するため、厳しい品質基準を満たした牛肉に地域名を冠した「ブランド化」を行い、高級感や信頼性を高める戦略をとっています。このように、価格ではなく付加価値の高さで選ばれる仕組み作りが、日本の農業振興策として重要視されています。                          |
| 問2  | 答え 3<br>火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。             | 鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。                    |
| 問3  | 答え 1<br>熊本県                                                      | 阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。                                                                   |
| 問4  | 答え 1<br>大陸から続く水深200m程度までの平坦な海底が広がっており、好漁場となっている。                 | 九州西方の東シナ海は、大陸棚が広大に広がっていることが最大の特徴です。この地形は、かつての氷河期には陸地であった場所が、その後の海面上昇によって浅い海となったものです。プランクトンの増殖に適しており、古くから漁業が盛んな地域として知られています。海溝は太平洋側に多く見られる特徴です。                                                            |
| 問5  | 答え 2<br>1972年の本土復帰後も多くの施設が維持され、騒音や事故、跡地利用の制約などが住民生活に影響を与えている。    | 沖縄県は第二次世界大戦後、1972年までアメリカの施政権下に置かれていました。本土復帰後も日米安全保障条約に基づき、広大な土地が米軍専用施設として残されました。特に人口密度の高い本島中部に基地が集中していることから、航空機の騒音や事故の危険性、さらには都市開発の妨げといった問題が長年続いています。                                                     |
| 問6  | 答え 3<br>シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。    | 鹿児島県に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物が積み重なってできた地形です。この土壌は水分を地中に通しやすい（水はけが良い）という性質を持っているため、大量の水を蓄える必要がある水田稲作には不向きでした。その代わり、サツマイモなどの畑作や、広大な土地を有効活用できる肉用牛、豚、鶏などの畜産業が大きく発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。                   |
| 問7  | 答え 4<br>火山灰が降り積もった地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難だから。              | シラス台地は火山噴出物が堆積してできた地形で、水が地下に浸透しやすい性質を持っています。台地の上（標高が高い部分）は川からの水も引きにくく、水持ちが悪いため、水田よりもサツマイモや茶などの畑作に利用されるのが一般的です。一方で、台地を削る川沿いの標高が低い場所では、わずかな水を利用して水田が作られることがあります。                                            |
| 問8  | 答え 2<br>種子島                                                      | 鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。                                                           |
| 問9  | 答え 3<br>宮崎市                                                      | 太平洋側に位置する宮崎市は、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、冬でも一月の平均気温が十度前後と温暖な気候になります。また、夏から秋にかけては、湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、七月の降水量が三百五十ミリメートルを超えるなど、全国的にも極めて降水量が多いのが特徴です。札幌市は一月の気温が氷点下となり、金沢市は冬の降水量が多く、大阪市は宮崎市ほどの降水量には達しません。 |
| 問10 | 答え 3<br>シラス台地                                                    | 九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。                                                         |
| 問11 | 答え 4<br>土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。                | シラス台地を構成する火山灰や軽石の層は、隙間が多くて水を通しやすい（水はけが良い）という特徴があります。この性質は、常に水を張っておく必要がある水田（稲作）には不利に働きます。そのため、水分が少なくても育つ作物や、広大な土地を利用した畜産業がこの地域の主な産業となりました。近年では、灌漑施設の整備により、一部で野菜栽培なども行われています。                               |
| 問12 | 答え 2<br>阿蘇山などの火山帯に近い地理的条件を背景に、地下の蒸気を利用した地熱発電が発達し、全国有数の発電量を誇っている。 | 大分県は九州の北東部に位置し、くじゅう連山や阿蘇山に近い火山地帯を抱えています。このため地下深くに高温の熱水や蒸気が存在しており、これを取り出してタービンを回す地熱発電が地域の重要なエネルギー源となっています。資料に示される約823百万kWhという発電量は、この火山帯という自然環境を産業に結びつけた結果です。                                               |